

ひたちアジア

第47号

2013年(平成25年)12月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

第11回ひたち国際文化まつり 開催 出合いと交流をありがとう



各会場の風景

「第11回 ひたち国際文化まつり」は、11月16日(土)10時から日立シビックセンターにおいて開催され、観客は延べ1,500人、天候に恵まれ、親子連れの家族が多く、賑やかに国際交流の輪がひろがりました。〔展示コーナーは11月12日～17日の6日間〕

1階「Kids & Experience Zone」は、子どもたちが主人公の空間。ギャラリー展示は「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」総数540点の絵画と「外国人の絵画展」は壮観で、午前中に表彰式があり、併せてユネスコの活動である「世界寺子屋運動」が紹介されました。アトリウムでは、世界の遊びコーナーや留学生によるお国紹介、また、来場の子どもたちは各コーナーを体験するスタンプラリーに挑戦して、楽しそうな姿が見られました。写真展「カンボジアの子どもたち」では生活の様子を紹介し、会議室では Bangladesh の芸術家と子どもたちの絵画展もありました。

2階「Talk Zone」は、みんなで語り合い楽しみましょうと今回で23回目となる「外国人の皆さんの日本語意見発表会」が13名の発表者により開催され満

員のお客様でした。第1位となるさくら賞には、来日9ヶ月のネパールのラマ ユバラジさん「私の夢と日本」が選ばれました。

4階「Eating Zone」は、国際屋台村がオープンし、アジア各地の料理が提供され、各料理ともすぐ売切れとなる盛況で、特にカンボジアの「スペアリブごはん」400円は好評でした。料理には麦茶のサービスがついて、401号会議室でおいしくいただきました。

5階「Culture Zone」は、いろいろな国の文化の体験でした。生け花とお茶席の日本文化体験や外国人の生け花展示、ラオス、カンボジア、ベトナムの文化紹介の他、アジア雑貨の展示販売には、多くの方々が商品を買って求めていました。また、ニイハオとあいさつしながら、中国文化を知って楽しく交流することができ、日中音楽交流会や中国茶のサービスときれいな紐のストラップのプレゼントもありました。

7階「Consultation Zone」は、外国人のみなさんなんでも相談できますよと生活と健康の無料相談会が会議室で行われました。

「カンボジア料理体験・インドフェスティバル」研修ツアー開催

今回の研修ツアー「バスで行くアジア文化めぐり」は、今年度のテーマ国「カンボジア」の食文化を学ぶ機会として、東京代々木のカンボジア料理店「アンコールワット」での昼食をはさんで、午前中は「東京国立博物館」、午後は代々木公園で開催された日本最大のインドフェスティバル「ナマステ・インディア」の見学という盛り沢山の研修ツアーとして、9月29日(日)に参加者36名(事務局2名を含む)で開催されました。



東京国立博物館での記念撮影

まず、最初の目的地「東京国立博物館」で開催された「秋の特別公開」を見学しました。国宝や重要文化財の中から酒井抱月の代表作「夏秋草図屏風」(重要文化財)や平安時代の和様の名品「益田本和漢朗詠集」(重要文化財)など、秋にふさわしい作品を鑑賞することができました。

昼食は、期待と不安のカンボジア料理。レストラン「アンコールワット」は1982年にカンボジアから来日したファミリーでオープンさせたお店とのこと。事前にバスの中で各自選んでおいた「チキンカレー」「豚肉野菜炒め」「冷やし海老春巻」などのランチセットをいただきました。料理の味付けは、日本人にとって特に違和感が無く、ボリュームも十分で、今年もまた新しい東南アジアの味を味わうことができました。

午後は、代々木公園で日本最大のインドフェスティバル「ナマステ・インディア」を見学しました。土日の2日間開催されており、内容は、飲食物の販売・レストラン・衣料品等の販売・インド関連の各種セミナー・ステージでのパフォーマンスなどがあり、賑やかで人出も多く大変盛り上がっていました。

すべての予定を終了し一路日立へ向かい、18時30分頃シビックセンターに無事帰着し解散しました。

料理サロン「カンボジア料理」



ホン ソコンティアヴィーさん

10月20日(日)、10時30分から14時まで、日立シビックセンター料理室におきまして、カンボジア料理教室が開催されました。日立市報に掲載された案内を掲載したこともあり、6名の一般市民の方々と会員17名を含め

23名での講習となりました。参加者の中には、カンボジアの訪問経験のある茨城キリスト教大学の学生さんもいました。講師は、筑波大学大学院に留学中の女子学生 ホン ソコンティアヴィー さん。(上写真)祖国のために農業経済を学ぶとともに茨城県留学生親善大使も務めています。

今回の料理は、カンボジアの家庭料理の「野菜とお肉のスープ」と「スペアリブごはん」です。先生がセンターの調理台でお手本調理するのを見ながら、各グループとも手際よく調理することができました。先生を囲んで楽しい昼食となり、各料理とも日本人にも馴染みやすく、特に「スペアリブごはん」は、焼き加

減も良く、美味しくいただきました。サプライズとして「かぼちゃのプリン」も用意されており、これもとても美味しかったです。

食事のあと、恒例のカンボジア文化紹介をしていただきました。プロジェクターを使いカンボジアについて判りやすく説明の後、質疑応答にも丁寧に答えていただき、今年度のテーマ国「カンボジア」についての理解を深めるための貴重な時間となりました。



料理の作り方を説明する ホン ソコンティアヴィーさん

「カンボジアふれあいの旅」報告

10月28日(月)から11月5日(火)の9日間、東京に本部があるNPO法人「21世紀のカンボジアを支援する会」主催の「第25回カンボジアふれあいの旅」(19人参加)に、私を含め3人が部分参加するかたちで、「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」の今年のテーマ国であるカンボジアを訪問しました。成田から韓国インチョン乗り継ぎで、カンボジア北部シェムリアップ空港まで約6時間の空の旅。前半はシェムリアップを拠点にトレンサップ湖水上生活村の小学校を訪問し学用品の贈呈、折り紙などで生



浅水さん家族(右手前3人)との会食

徒との交流を行いました。また、世界文化遺産でもあるアンコールワットやアンコールトムを訪れ、いにしへのクメール王国へ思いをはせました。後半は、牛車・自転車・トゥクトゥク(バイクの後ろに4～6人用の座席をつけた乗り物)・乗用車・トラックが行きかう交差点でも信号の無い国道をバスが突っ走り、250キロ南部の首都プノンペンへ移動。プノンペンでは、「21世紀のカンボジアを支援する会」が運営する孤児院「夢ホーム」で子供たちとの交流を深めたり、日立市内で活動する「カンボジアの子ども達に夢と希望を贈る市民の会」が開催するプノンペン近郊の小学校対抗サッカー大会を観戦しました。また、この「ひたちとアジア」へ「カンボジア通信」を何回も寄稿し、今年6月には「カンボジアのこどもたちと今」について講演していただいた元JICA青年海外協力隊隊員で、現在、カンボジアの教育庁で勤務されている浅水伸介さんに面会し、一緒にプノンペンの「キリングフィールド」を訪れたり、ご家族との会食をたのしみました。

公務員の平均月収が100ドル程度で、若者が多く混沌として活気あふれるカンボジアを見ながら、今後の経済発展の可能性を感じた旅となりました。

(小澤 記)

「カンボジアの子ども達に夢と希望を贈る会」紹介

【代表者】菊池 和雄 (会長代理)

【設立年月日】2011年(平成23年)10月1日

【設立目的】カンボジアの子ども達に夢と希望を贈ると共に、子どもたち同士のスポーツ交流につなげる

【会員数】26名(2013年3月31日現在)

【会費】年間 1,000円

【事業の内容】

- ・希望者によるカンボジア訪問ふれあいの旅(学校児童養護施設、他訪問)
- ・ドリームカップサッカー大会の開催
年1回(11月)

・写真展、研修会、総会、他

【2013年度 実施予定の主な事業】

- ・ACC21-10周年記念式 4月20日(土)
- ・カンボジアふれあいの旅
10月30日(水)～11月5日(火)
- ・ドリームカップサッカー大会 (11月3日(日))
- ・ひたち国際文化まつり 写真展参加 (11月)
- ・報告会、研修会、理事会、総会

【メッセージ】

カンボジアは今、20年以上に及ぶ内戦が終わり復興途上であり、新しい国造りを目指し立ち上がろうとしています。内戦の傷跡は今なお深く、終結後十数年を経た現在でも、世界の最貧国のひとつです。そして貧困のしわ寄せはとりわけ子ども達に及び、劣悪な設備と不衛生な環境での勉強を余儀なくされています。さらに、そのような下でも学校に行けるならまだしも、生活を支えるため通学できない子ども達が数多く存在します。私たちは、貧困から抜け出し、この国の未来を担うのは子ども達であるという観点から、カンボジアの子ども達の教育を、スポーツを通して物心両面から支援します。

市民の会としては、全国規模のカンボジアを支える会の一員として学校建設、井戸ポンプ設置、里親としての支援に協力してきましたが、2010年8月にサッカー少年団からご寄附いただいた サッカースパイクのプレゼントなど、より主体的な取組みをめざして「カンボジアの子ども達に夢と希望を贈る市民の会」を立ち上げ、サッカーボールのプレゼントに続いて女生徒のみなさんにも喜んでもらえるよう バレーボール、ドッチボールなど第二弾として贈ることが出来ればと考えています。出来れば子どもたち同士のスポーツ交流にまでつなげる事ができればと思っております。

なお、戦後かみね動物園にカンボジアからやってきた象は「みねこ」と名付けられ子ども達の人気ものでした。そんな「みねこ」への恩返し の思いも込めて、活動して行きたいと考えます。

情報コーナー

初春落語会

狂言教室



初音家左橋

と き 平成 26 年 1 月 18 日 (土)
開演 13:30 (開場 13:00)
ところ 日立シビックセンター
多用途ホール
木戸銭 2,000 円 (発売中)
出 演 初音家 左橋
柳家 一丸
翁家 和助 (太神楽)
初音家 左吉

と き 平成 26 年 2 月 19 日 (水)
開演 13:30 (開場 13:00)
ところ 日立シビックセンター
音楽ホール特設能舞台
入場料 全席指定 (2階席の一部のみ)
1,000 円 (発売中)
演 目 レクチャー&デモンストラーション
狂言「盆山」
狂言「附子」
出 演 野村万蔵ほか萬狂言一門

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2014年1月~2014年3月)

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
日立市 日中友好協会	春節祭	2月2日(日)16:00	日立市民会館	090-2531-5444(白土)
フレンドリー あんず	外国人のための生け花クラブ	1~3月は第4金曜日 10:00	教育プラザ	0294-21-4150(福地)
	日本語教室	毎週火曜日 19:00 金曜日 14:00	(火)女性センター (金)教育プラザ	0294-25-3827(反町) 0294-42-8176(金岡)
	食文化交流ET会中国会	1月	女性センター	0294-35-1151(今野)
国際交流 ボランティア ネットワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00 土曜日 10:00	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-21-5849(横田)
	外国人とさくら会員との交流会	1月	未定	
	国際理解講演会	2月	未定	
	会員研修	3月上旬	未定	
日立ユネスコ 協会	成人式コーアクション ーユネスコ広報、募金活動ー	1月12日(日)	新都市広場	0294-35-6034(藤原)
	「私の町のたからもの絵画」 巡回展 in 日立	2月3日(月) ~9日(日)	イトーヨーカドー3階 連絡通路	
ガールスカウト 10団	スキー訓練	1月19日(日)	沼尻スキー場	0294-23-3156(小貴)
	シンキングデイ	2月2日(日)	会瀬青少年の家	
	わんぱくおてんばふれあいランド	3月16日(日)	日製会瀬グランド	

活動記録

2013. 8. 1~2013. 12. 31

編集後記

この会が始まって、まもなく17周年をむかえます。発会と私の定年が重なり、それ以来、長い間お世話になっています。

最盛期の会員は250人でしたが現在は150人位に減少しました。でも残っているメンバーは皆やる気満々です。「ひたち国際文化まつり」も今年で11回目になりました。この間、元気な仲間たちと熱く意見を交わしながら、年々内容は充実してきましたが、国際交流の場であるこの会に、外国人の参加が充分でないのが少し淋しいことです。

皆様、外国人のお友達を連れて来て下さい。熱烈歓迎です！(森 記)

ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 ホームページ <http://www.civic.jp/hitachi-asia/>

連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで

TEL 0294(24)7711

FAX 0294(24)7970

E-Mail salon@civic.jp